

## 「総合学習」講座

### 2025/12/6-7 総合学習 6日鋸山、7日伊予ヶ岳

鋸山: 天気も良く、気持ちよく登れました。地形図の読み方やコンパスの使い方もだいぶ身につけてきました。ただ、地形図で見るとなだらかに見えるような場所でも崖があったりして、道から逸れないこと、周りの状況をよく確かめることの重要性が身に沁みました。

伊予ヶ岳: 鎖場は怖いと同時に、面白かったです。手を使える分、ただ登るだけより体力的には楽な気もしました。他の軽装の方々も登っていたところを見みるに、登り降り自体はそれほど難しくないのかもしれませんが。ただ、死亡事故の看板があったり、岩や石がボロボロ崩れて勢いよく落ちたりするのを目の当たりにして、できるだけ安全に登り降りできる知識と装備を身に付ける重要性が改めて分かりました。

ご案内ありがとうございます、参加しました N.O 記

雪山体験として、雪山ツールの体験と共に雪山山行の体験を行った。最初に、雪山ツールの準備からとなるが、机上講座でのご指導もあり、揃えるポイントを踏まえて準備することができた。脱ぎ着することを前提とした防寒ウェアに興味を引いたのが、手袋である。手袋もレイヤー構成で、そのニトリル手袋、防寒テムレス手袋は、ワークマングッズとして扱われているのが親近感があった。ショーワグローブは、冷凍倉庫作業用グローブが雪山登山グッズとして使われている事を知って、商品開発したそうであるが、ラインナップを見ると作業用と登山用は全く同じ外観であるが、品番が異なり、値段が違う。当然ながら登山用は高く売られている。付加価値がある市場で、販路を変えて新商品として販売するビジネスモデルには感銘した。購入したのは、当然、作業用モデルである。

雪山体験としては、アイゼン、ワカン、スノーシューを着用した雪山歩行、登山、ラッセル体験、スノーソー、スコップを用いた雪のテーブルと雪洞の作製を体験した。

進む雪道の状態によって歩行ツールを準備する事、判断する能力、使いこなす技術、体力を身につけなければならぬ事を感じた。そして、汗をかかない程度の行動ペース配分と汗で体を濡らさないウェアの効果も体験した。雪山登山は無冬期の山と異なる世界を眺め、体験出来る楽しみもあるが、その分環境が厳しいので、安全対策が重要であり、事前準備と共に、判断力、技術、体力を身につけないといけない。初心者向けの雪山からチャレンジしてみたいと思います。

視点は異なるが、登山だけではないが、アウトドアスポーツを安全、快適に楽しむツールがたくさん開発されていて、まだまだ成長する分野である事も肌身を持って感ずる事ができ、そういう点でもこれからが楽しみである。そして、一年を通して学び、体験した事で自身が成長したように感じる事ができた事も嬉しく思います。最後に、スタッフの皆様、メンバーの皆様共に感謝の意を込めて結びたいと思います。ありがとうございました。H.K 記

本講座は、6日に鋸山、7日に伊予ヶ岳で実施されました。

6日は、電車遅延により遅刻するというアクシデントがありましたが、茂田さんが対応してくださったおかげで、予定通りにメニューをこなすことができました。感謝いたします。

鋸山は、過去に観光で訪れたことがありましたが、登山をするのは初めてで、新鮮な気持ちで講座を受けることができました。地形図を読み解く練習など、これまで学んだ内容を改めて思い出す良い機会となりました。

7日は、伊予ヶ岳にて、岩場やくさり場の通過を復習しましたが、小石を落とさないようにすることが難しく、苦勞しました。このようなことは山におけるリスクにも関わることでありますので、今後も様々なリスクを意識

しながら登山を楽しみたいと考えています。

今回の講座は、一泊二日で行われましたが、私はナイトハイクやテント泊には参加していません。そのため、学校の仲間達との泊まりでの行動は初めてで、皆で酒を飲み、笑い合い、遊び、語り合う時間は、若い頃に戻ったような感覚で、とても楽しく、良い思い出となりました。

また、宿泊先の蔵屋敷もとても素敵な場所で、料理も大変美味しく、心地よく過ごすことができました。

最後に、今回の総合学習講座で学んだことを、今後の登山に活かしていきたいと思います。運営の皆様方、色々ご配慮いただきありがとうございました。A.O 記

本日はありがとうございました。

素敵なお宿も予約していただき、とてもリフレッシュできました。

〔昨日の感想〕

コンパスの使い方の復習ができました。使わないと忘れてしまうので、日頃から使うことを心がけたいと思います。歩くことに集中して目印の鞍部の見逃しをしてしまいましたが、こうした目印の見逃しから道迷いになりかねないと感じました。思い込みやすい性格なので、現在地の確認は時々GPSや他の目印を予め確認しておくなどして対策したいと思います。鋸山は階段が大変でしたが、冒険感のある道が多く、ぜひまた友達と来たいなと思いました。

〔本日の感想〕

これまで忘れたことの無かったスリングの使い方を忘れたのがショックでした。感覚だけで覚えるのではなく、どこに通したら固定できるか考えながら結ぶのが大事だなと思いました。岩登りは手足をかける場所を考えながら、登り降りするのが楽しかったです。チェーンやロープの多い岩場だったので、下りは一気に下りることができて、爽快でした。他の登山者の方が落石を発生させてしまう場面もしばしば見られ、岩場のある山では低い山でもヘルメットが必要だなと感じました。岩場は全身を使えるのが好きで、行ける範囲で岩場のある山に行きたいと感じました。Y.O 記

本日はお世話になりました。総合講座の感想です。

6日の鋸山は、地形図の読み方、コンパスの確認から始めましたが、地図記号を忘れていた部分もあったので個人で行く時も意識しなければと思いました。

鋸山は思ったよりもハードでした。公共交通機関でのアクセスだったので、時間配分を気にしなければならないのに、途中、お昼休憩で気を抜いてしまい5分ほどオーバーしてしまいました。スケジュール管理も山行の一つなので気を付けたいと思います。

7日の伊予ヶ岳は、短い行程でしたが、広場あり、鎖場あり、見晴らし良しでとても楽しめました。個人ではなかなか鎖場にトライする勇気がないので、登山学校で連れてきてくださり感謝です。

蔵屋敷もとても良かったですし、太平洋側の海で夕陽を見れたのも忘れません。E.I 記

## ①鋸山

雲晴。登山学校の仲間と一緒に、329メートルの登山道を登りました。

海風と木々の香りが癒しになり、ドキドキしながらもワクワク感が止まりませんでした。

登る途中、ノコギリの刃のようにギザギザした岩肌が目の前に広がります。

石切場跡では房州石が積まれていて、昔の石切職人たちの努力を感じました。

「女性が1日三往復も石を運んだ」という話を聞き、思わず尊敬の念。重労働の跡が、岩肌や車力道に刻まれています。残念ながら、曇で富士山が見えませんでした。眼下には青い海が広がり、眺望が良かったです。

329メートルの道のりを頑張った甲斐があったと心から思いました。

山友とおしゃべりしながらの山行はとても楽しかったです。

下山後は民宿「蔵屋敷」に宿泊。民宿のおかみさんやおばあ様の温かい雰囲気癒されます。

夕食前に歩いて5分ほどの浜辺に夕日を見に散歩。なんと夕日に染まった富士山が見えました〜♥。

ラッキー♪そして、夕食は新鮮なお刺身と鯛の塩釜焼き！山行後のご褒美は格と、仲間と笑いながら味わいました。夜中3時に目がさめ、外に出ると澄んだ空に星が輝いていました(星)。

登山道や車力道で感じた疲れも忘れ、星空を見上げながら「登山って、景色だけじゃなく歴史も味わえるんだな」と実感しました。鋸山は、初心者でも楽しめる絶景と歴史の宝庫でした。

ギザギザ岩肌や絶壁房州石を運んだ重労働の跡女性1日三往復の努力、車力道を歩く体験

富士山遠望と海の青、民宿での美味しい料理・星空どれも登山の魅力を引き立ててくれました。

「登る楽しさ+歴史を感じる楽しさ+美味しいご褒美」で、鋸山は初心者に優しい盛りだくさんの山でした。

水仙の咲く頃、1月くらいにまた来たいな〜♥とも思いました。

運営委員の皆様、楽しい山行企画をありがとうございました。

## ②伊予ヶ岳

天気は晴れで気持ちよく、「今日は余裕だな〜」なんて思っていたのですが、その油断はすぐに打ち碎かれることになりました。

ルートの途中で、ついに鎖場とロープ区間が登場。

初めて見るその迫力に、思わず「これ…登るのですか？」とビビってしまいました。

運営委員の茂田さんは落ち着いて、「小石を落とさないように気をつけましょう」

と優しく声をかけてくれるのですが、こちらはその言葉を必死に握りしめるような心境。

小石を落とすしかなかったので、「頼むから動かないで…！」と足元に静かにお願いしながら進むという、なかなかシュールな状況でした。ごめんなさい。ひとつ小石を「ラク」してしまい、後方なメンバーに迷惑おかけしました。すみませんでした。

鎖を握る手には自然と力が入り、ロープが少し揺れるたびに心臓も揺れる。

“落ち着きたい気持ち”と“ビビる気持ち”のせめぎ合いでした。

ヘルメットは、本日の精神安定グッズとして大活躍でした。低山でも必要な場合があると実感しました。

また、スリングとカナビラを忘れてしまい、すみませんでした。

山頂の景色はご褒美そのもの頑張って登り切ると、山頂からは富士山や海まで見える絶景が！

ここまでの緊張が一気に吹き飛び、「ああ、来てよかったなあ…」と素直に思えました。

景色の力ってほんと偉大です。

今回の講習は、初心者でもしっかり学べて、ちょっとドキドキしながらも楽しめる内容でした。

鎖場とロープにはすっかりビビりましたが、乗り越えたあとは自信が増した気がします。

これからも、今回の山行で学んだことを忘れずに日々努力と研鑽をして、安全で楽しく山登りができたらと思います。運営委員の皆様、これからもご指導頂けますよう何卒、よろしくお願ひ致します。 K.N 記

鋸山は変化に富んだコースであり地図読みやコンパスをみんなで再確認できました。階段が辛かったですが展望台の景色は最高でした

岩登りは楽しい反面リスクも高く、伊予ヶ岳では小松さんの指導の下、1班はピリッとした空気でしたが反面すれ違った登山者の装備や配慮のなさが目につきました。ラクのアクシデントはとてもショックで気軽に初心者だけの山行は今後考えものと身につまされました

12月とは思えない陽気で山だけでなく海もたっぷり満喫でき海無し県住まいにはとても良い企画でした。どうも有難うございました Y.D 記

初日はまた特急に乗り遅れてしまい、大幅に遅刻してしまいました。駅に着いて、これからどうしようか、とにかく少し急いで追いつくしかないなと思っていたところ、駅前で運営の S さんが声をかけてくれて、思わずほっとした。運営の皆さんありがとう。その後、3 人で地形図を確認しつつコンパスを使い、少し速めのペースで歩いたら、みんながお昼を食べている頃に展望台に到着できた。また運よく、こんな低い山なのにすぐ近くで小鹿を見ることができた。

下山中は、読図でこれから歩く道を予測する練習をもう一度やった。普段あまり使わないせいで少し忘れていたが、今回の復習で以前の講座の内容がしっかり思い出せた。

宿も本当に最高だった。歩いて 5 分もしないうちに海に出られて、見事な夕日を撮ることができた。夕食も朝食もとても豪華で、いろいろな種類の魚を味わえた。

2 日目の伊予ヶ岳では、長い岩場を体験した。ドキドキでとても楽しかった。岩場を通過した後、富士山も見えた。登山学校の企画がなければ、こんな低山にこんなスリリングな岩場があるなんて知らなかったと思う。上下に人が多いときはお互いに譲り合うため待ち時間が増え、その分ちょっと怖さが増す瞬間もあった。一步一步、滑らないように、石を落とさないように慎重に進むことは、周囲の人への責任でもあると感じた。

今回の総合学習は、最初は「千葉の低い山だし、つまらないかもしれない」と思っていたが、実際には 2 日間でとても多くの経験ができ、本当に楽しかったし心が癒された。運営の皆さんに心から感謝します G.S 記

週末は大変お世話になりました

2 日間かけて実技編たっぷり復習ができました。

私のみならず記憶があやふやになっていて何度も反復学習することが必要だと気付かされました。Y.D 記

天気、気温も登山に適し、必要以上の発汗無く、無事終わられました。(7 月の惣岳山の事がトラウマ)

リーダーも、運営委員さんもペース配分下さった事に感謝します。

地図読みは、なかなか難しく、地形図で景色は読み解けず、現地にてこの地形が、このように表記されているのかと再確認。想像の外れが多かったです。

人力で山を削って道を作ったり、石を切り出した景観(良し悪しは別として)は、見事な物だと思いました。

地獄覗きを下から見上げるのも一興ありました。また、東京湾を望む景色も素晴らしかったです。

晴れ渡っていたら、富士山も望めたとの事、ちょっぴり残念。

車力道、自身を持ち上げるのが、やっとでしたが、ここを女性が重い石を積んだねこ車で 240kg を運んでいたとは、想像を絶する重労働だったと思われます。現代人で良かった。

熊無し県で、安心して登れたのも有難かったです。ありがとうございました。

1 月鍋大会楽しみです。M.T 記

## 【総合学習講座】2班記録 A.O 記

総合学習講座 記録報告（第2班）

7日の記録係の長利です。

下記のとおり、第2班の総合学習講座（7日）の内容をご報告します。

### ■場所

伊予ヶ岳

### ■第2班の活動内容

- ・ 10:30 天神郷に集合
- ・ 10:40 登山開始
- ・ 11:30 広場到着
- ・ 11:40 南峰山頂を目指して出発（岩場、鎖場の通過）
- ・ 11:55 南峰山頂到着
- ・ 12:05 北峰山頂を目指して出発
- ・ 12:10 北峰山頂到着
- ・ 12:15 広場を目指して出発（同じ道をピストン）
- ・ 12:40 広場到着（昼食）
- ・ 13:20 天神郷を目指して出発
- ・ 14:10 天神郷到着（7日の講座修了）

※ 15:10 岩井駅にて、班ごとのミーティングを実施

### 『鋸山』M.T 記

2 グループ タイムレコード

- 10:40 浜金谷駅出発
- 10:50 登山口(車力道)スタート
- 11:13 B分岐
- 11:21 石切場跡
- 11:45 展望台 昼食休憩
- 12:25 展望台出発
- 13:32 石切場跡(関東ふれあい道)
- 13:49 観月台手前トイレ休憩
- 13:57 観月台到着
- 14:02 観月台出発
- 14:10 登山口到着
- 14:34 浜金谷駅到着